

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
これからの生物育成の技術	2	生物育成の技術の学習をふり返り、技術の見方・考え方について確認する。生物育成の技術の評価し、適切な選択と管理・運用のあり方について考える。	生物育成の技術の見方・考え方について説明できる。	新たな生物育成の技術について、よい点と課題をあげて評価し、適切な選択と管理・運用する方法や、新たに改良や応用をする方法について考えることができる。	生物育成の技術の評価し、適切な選択と管理・運用する方法や、新たに改良や応用をする方法について考えようとしている。
材料を利用するための技術	2	金属の性質と種類と特徴を知る。	金属の性質の違い等、その使用方法を説明できる。	製品における材料の使い分けについて、それぞれの特徴に気づくことができる。	材料と加工の技術が活用されている製品の工夫を説明しようとしている。
製作のための技能	5	金属の特徴をふまえた加工技術について知る。材料取り(けがき)切断切削組立て仕上げ。工具を使って正確に効率よく切削等ができる。ねじ加工を正確。研磨や塗装による仕上げができる。	弓のこ等の工具を使用し切断や切削ができる。表面の研磨。	問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	便利な生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
コンピュータとプログラミング	2	コンピュータによる処理のしくみプログラムの構造と表現について考える。	コンピュータで処理を自動化する場合に必要なことを説明できる。プログラミングの手順と必要な事柄を説明できる。	処理の手順をアクティビティ図等で表現できる。	問題解決とその過程をふり返り、社会からの要求をふまえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善しようとしている。
計測・制御のプログラミングによる問題の解決 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	6	計測・制御システムのそれぞれの要素のはたらきを知る。双方向性とユーザインタフェース問題解決の流れコンピュータを使って機器を自動で動かすしくみ計測・制御システムの基本的なしくみを知る。	各メディアの特徴をプラス面、マイナス面に分けて説明できる。計測・制御システムにより自動的に機器が動くしくみを説明できる。双方向性のあるコンテンツの例を挙げ、コンテンツの特徴を説明できる。計測・制御システムの各要素の種類とその役割を説明できる。	情報の技術を利用した、問題解決の見通しをもつことができる。解決のためにセンサとアクチュエータをどのように利用するか、入出力されるデータの流れから計測・制御システムを構想し制作工程表等に表現できる。	問題解決とその過程をふり返り、社会からの要求をふまえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善しようとしている。
これからの情報の技術	1	情報の技術と私たちの未来について考える。	情報の技術の見方・考え方について説明できる。	新たな情報の技術について、よい点と課題をあげて評価し、適切な選択と管理・運用する方法や、新たに改良や応用をする方法について考えることができる。	情報の技術の評価し、適切な選択と管理・運用する方法や、新たに改良や応用をする方法について考えようとしている。